



# ふれあい

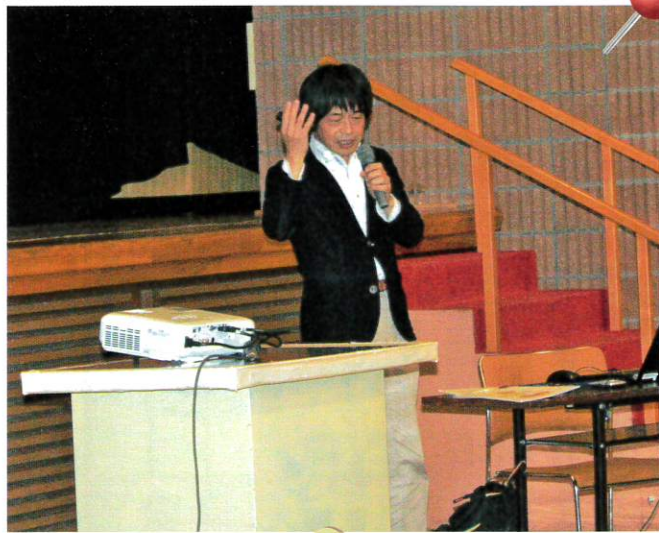
編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会  
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地  
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031  
Eメールアドレス  
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp  
ホームページアドレス  
<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

## 第6回地域包括ケア座談会

# 広げよう支え合いのまちづくり



### 講演

#### 「人生100年時代の親と子」

花王株式会社 生活者研究部  
ライフスタイル研究室

青木 基氏

### 座談会

#### 「親子関係を良くするための工夫」

一般社団法人ウェルビー  
デザイン 理事長

篠原 辰二氏

京極町地域支えあい本部が主催で6月19日(水)、京極町公民館にて「第6回地域包括ケア座談会」を開催いたしました。今年の座談会では講師に花王株式会社生活者研究部ライフスタイル研究室青木基氏から「人生100年時代の親と子」と題して講話をいただきました。そして講話の後は、一般社団法人 Wellbe Design(ウェルビーデザイン)篠原辰二氏の進行のもと座談会を行いました。今年の参加者は過去最大の107名でした。この地域包括ケア座談会の目的は「福祉の取り組み」や「将来、京極町で豊かに暮らしていくために必要なこと」について住民の皆さんと気軽に話し合い一緒に考えていくことです。来年もこの座談会を企画していきますので、今年来られた方も来られなかった方も、是非とも次回の座談会にご参加いただければ嬉しいです!

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

# 令和元年度 基本方針



京極町地域福祉計画及び第6期地域福祉実践計画が策定されました。これは町と社協が共同で策定にあたり、ワーキングチームには公募の住民が参画しました。行政と社協、住民が一体となって地域福祉計画を策定することは京極町にとって初めてのことで、町の福祉行政にとって画期的で、意義のあることと評価されます。今年度からはこの計画に基づき事業を進めてまいります。「介護予防・日常生活支援総合事業」では、介護予防事業「つどいの場」という住民主体のサロン活動が増えて成果を上げてきました。これからは、既存の制度では補うことができない「生活支援サービス」の充実が求められています。これについては地域住民同士が互いに助け合うシステムづくりを進めている「NPO法人きょうごく」の活躍が期待されます。住民組織である「NPO法人きょうごく」と連携し、支え合いの体制を確立することで京極町のモデルができると考えます。

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生

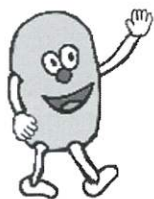
の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体となった「地域包括ケアシステム」の実現に向けては、「総合相談」の充実が重要です。そのために住民が気楽に相談に来られる社協を目指します。そして、これまでどおり困っている人、個人を支援すると同時に、その人を支える地域をつくることを重要とし進めます。地域から寄せられる相談を地域のひとともに解決していくことで、インフォーマル※なサービスが多く生まれ、地域包括ケアの実現に近づきます。

社協運営に関しましては、8人の理事が役割分担し、各事業の業務執行に深く関わりを持つ体制をつくりました。まだ十分に機能するまでには至っていませんが、今後は理事会と事務局が一体となった社協運営を二層進めてまいります。

※インフォーマルサービス：

公的ではないサービス。

助け合いなど。



## 令和元年度収支予算

### 【支出の部】

科 目	予算額 (円)
人件費	128,147,000
事業費	9,395,000
事務費	29,763,000
貸付事業支出	800,000
共同募金配分金事業費	2,157,000
助成金支出	80,000
負担金支出	219,000
ファイナンスリース債務の返済支出	672,000
積立資産支出	6,696,000
予備費	50,000
支出合計	177,979,000

### 【収入の部】

科 目	予算額 (円)
会費収入	1,300,000
寄付金収入	1,000,000
補助金収入	35,200,000
受託金収入	92,406,000
事業収入	1,338,000
貸付事業等収入	700,000
介護保険収入	42,790,000
受取利息配当金収入	10,000
積立預金取崩収入	3,235,000
収入合計	177,979,000

# 平成30年度 決算報告

## 【貸借対照表】

(平成31年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
<b>流動資産</b>	11,594,233	<b>流動負債</b>	11,238,013
現金	53,651	未払金	6,661,288
預貯金	3,952,546	1年以内返済予定	671,328
未収金	6,725,289	預り金	2,845,887
立替金	143,245	仮受金	1,059,510
前払金	235,002		
仮払金	484,500		
<b>固定資産</b>	92,679,126	<b>固定負債</b>	44,791,145
基本財産	1,591,613	リース債務	2,069,928
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	42,721,217
その他の固定資産	91,087,513		
土地	3,000,000		
建物	9,869,533		
機械及び装置	2		
車輛運搬具	2		
器具及び備品	1,112,736		
無形リース資産	2,685,312		
退職給付引当資産	43,118,069		
その他の積立金	31,301,859		
福祉基金	3,763,115		
愛情資金積立金	6,952,897		
奨学基金積立金	10,329,452		
未来へつなく夢基金	9,469,134		
愛情資金貸付金	787,261		
<b>資産の部合計</b>	<b>104,273,359</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>104,273,359</b>

## 【資金収支決算】

(単位:円)

収入の部	決算額
会費収入	1,129,500
寄付金収入	2,483,528
補助金収入	37,399,983
受託金収入	90,832,990
貸付事業等収入	311,900
事業収入	2,203,343
介護保険収入	41,154,750
受取利息配当金収入	1,112
積立資産取崩収入	4,565,200
その他の活動による収入	118,360
前期末支払資金残高	1,017,217
<b>収入合計①</b>	<b>181,217,883</b>
支出の部	決算額
人件費支出	128,215,287
事業費支出	8,366,181
事務費支出	32,711,682
共同募金配分金事業費	1,992,807
助成金支出	50,000
負担金支出	248,000
固定資産除却・廃棄支出	15,188
固定資産取得支出	353,916
ファイナンス・リース債務の返済支出	674,520
積立預金積立支出	7,562,754
<b>支出合計②</b>	<b>180,190,335</b>
<b>繰越金① - ②</b>	<b>1,027,548</b>

# 30年度賛助・一般会員報告

【期間:平成30年4月  
～平成31年3月】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申しあげます。ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。

(敬称略)

### ◎一般会費【町内世帯】 計1,143戸 ◎賛助会員【個人】

松長 正憲	阿部 鋭右	渡部 安夫	堅田 芙美子	横川 広	大場 美智子	菊地 憲一
西方 清徳	竹浪クニ子	中村 恒男	小林 一男	藤沢 玲子	山田 雅	佐藤 絹子
堅田 光良	安藤 博	富成 邦彦	鳩沢 秀子	池元 豊	佐藤 明	山中 艶子
有末 義美	中村美智子	茅田 英利	古館 祐子	柴山 悟	篠原 政彦	※他匿名者多数
片田 幸夫	大清水昭子	笹原 満雄	坂本 秋広	末吉 光恵	立川 勝雄	
船場 実	長谷川 敦	佐藤 恭子	辻 征二	長壁千代子	多田 英男	

### ◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

JAようてい京極支所	株式会社 中村組	京極町羊峰会	有限会社 マルダイ大木金物	樋口電気工業 株式会社
株式会社 京極産業	京極町商工会	有限会社 藤沢デンキ	有限会社 古屋建設	養護老人ホーム慶和園
株式会社 桜組	ようてい森林組合	宗教法人 北神分教会	北海道信用金庫京極支店	ユニットケア慶和園
株式会社 鈴木商事	川崎建設株式会社	宗教法人 光寿寺	株式会社 羊蹄清掃社	(株)パイオニアフーズ
株式会社 高瀬製作所	菊地建設鋳業株式会社	宗教法人 広徳寺	役場課長親睦会	計36件
株式会社 道南富士コン	京極建設株式会社	宗教法人 龍門寺	有限会社 鎌田商店	
株式会社 富成商店	菊地歯科医院	宗教法人 瑞法寺	有限会社 京極石油	
有限会社 赤木農産	(有)ミートショップあんぼ	(有)ヤマトモリ	久保砕石工業株式会社	

## 京極町社協の活動を応援してください ～賛助会員の募集～

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしくお願い致します。

**会費 一口…1,000円**

問い合わせ先 ☎0136-42-3681  
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

# 居宅介護支援事業所

## 平成30年度 居宅介護支援事業所 報告

### 1 在宅生活を希望される方の支援の実施。

在宅での生活を希望される方について昨年同様に継続して支援を行っている。病気を抱えながらも住み慣れた在宅生活を継続する方も多くいる。本人、ご家族の意向に沿いながら不足部分もあるが、本人、ご家族の心も含めてケアを行うことが必要な時になっていると考える。

### 2 関係事業所との連携を図り、地域包括ケア推進のために居宅介護支援事業所として協力できる体制作りを行う。

町内の事業所との連携については定期的な会議の実施により専門職のさらなる資質向上に向けて役立てていきたい。

### 3 介護保険事業所としての収益性確保を行い、事業所としての独立した採算性を意識する。

本年4月実施エリア区域を京極町から後志広域連合に変更を行っており、事業所の収入面においては安定した収入を確保することができており、現在の体制については継続して行きたい。

ご不明な点や  
お問合せは…

京極町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所  
☎42-3681 までご連絡をお願いします。

## 平成31年度 居宅介護支援事業所 目標

### 1 在宅生活を希望される方の支援の実施。

2 関係事業所との連携を図り、地域包括ケア推進のために居宅介護支援事業所として協力できる体制作りを行う。

3 介護保険事業所としての収益性確保を行い、事業所としての独立した採算性を意識する。



# 訪問介護事業所

## 平成30年度の事業報告 (平成30年度利用状況報告)



○訪問介護事業所では要介護者(1~5) 37名の方にサービス提供をし、延べ248名利用されている。(新規利用者11名、サービス終了者12名)。加齢にともない、入院から在宅に戻らず施設入所になり、家族がいても介護が大変になると在宅サービスだけでは24時間の介護は難しく施設入所となるケースが増えている。

### ○サービス内容

サービス内容	30年度 利用延べ回数	29年度 利用延べ回数	前年比
身体介護(通院・買物・銀行等の付添い等)	561回	707回	-146回
生活援助(買い物代行・調理・掃除)	208回	256回	-48回
通院乗降介助	18回	213回	-195回

○介護予防・日常生活支援総合事業(要支援1・2)は2名の利用されている。

### 令和元年度 訪問介護事業所重点目標

1. 利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう、安定的なサービス提供と各関係機関の連携強化を図る。

2. 質の高いサービス提供、ホームヘルパーの人材確保の推進・啓蒙活動・研修の充実化を図る。

## 京極町生活サポートセンター

### 成年後見制度と京極町生活サポートセンターのお仕事

急速に進む高齢化や核家族化の中で、成年後見制度の利用が必要なケースが増加していると予想されています。高齢者や障がい者が詐欺などのターゲットになってしまっているニュースを新聞やテレビで目にすることがあります。また、住宅・医療・福祉・金融などの生活関連サービスを適切に利用出来ていないケースもあります(いわゆるごみ屋敷や閉じこもりなど)。このような方々は自分に必要な制度やサービスを自分の力だけで活用することが難しいといえます。

京極町生活サポートセンター(京極町社会福祉協議会内)は、町からの委託を受けて権利擁護が必要になった住民に確実に支援を届けられる体制構築に4つの視点をもって取り組んでいます。

#### ① 成年後見制度をはじめとする権利擁護の取り組みを知ってもらうために!

- ・社協の広報「ふれあい」に権利擁護に関する情報を掲載しています。
- ・住民講座を開催しています。  
権利擁護に関するご説明に伺わせていただきます。ご友人同士や団体の勉強会などお気軽にお声掛けください。

#### ② ご相談ください!

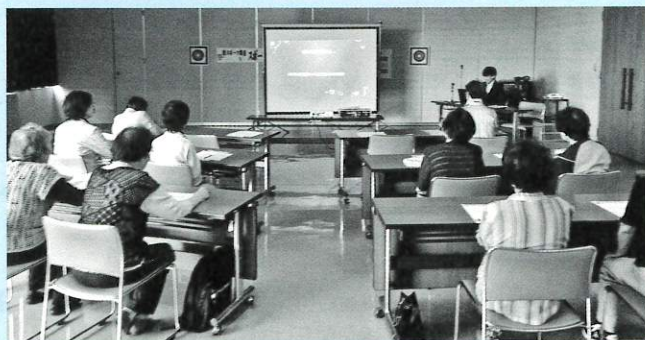
- ・心配なこと、困りごとがございましたらまずはお相談ください。センター長を含む3名の職員が権利擁護に関するご相談をうかがわせていただきます。成年後見制度はもちろん、その他のお困りごとについても他機関のご紹介など対応させていただきます。

#### ③ 成年後見制度の利用が必要な方を支えます!

- ・適切な支援が受けられるよう、受任する成年後見人さんの調整を行っています。
- ・成年後見人を担いたい、担っている住民さんの勉強機会を企画運営しています。

#### ④ 地域の成年後見人さんが支援に困ってしまわないように応援します!

- ・医療や福祉サービス事業者との連携を調整したり、困った時に法律の専門家や家庭裁判所に相談できるよう支えます。



#### 〈お問い合わせ先〉

京極町生活サポートセンター  
京極町三崎68番地(福祉センター内)

☎0136-42-3681

担当/駒田・阿蘇 まで



後藤田 文江 ごとうだ ふみえ

#### 職員紹介

6月から生活サポートセンターで一緒に働かせて頂いている後藤田文江です。

京極に住んで約5年、久しぶりの仕事復帰ですが、事務方のお仕事のサポートが出来る様頑張りますので、宜しくお願い致します。

# 京極町地域包括支援センター

平成30年度事業報告  
令和元年度事業計画

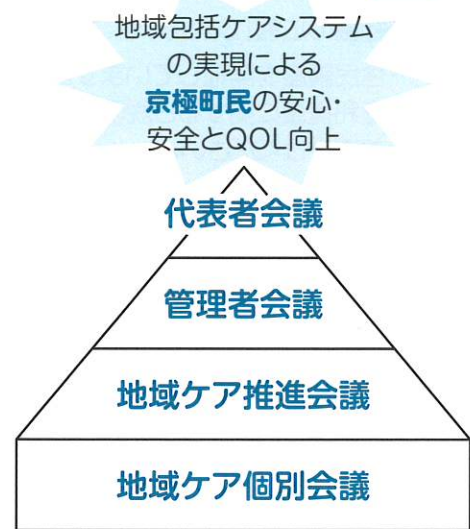
**I. 包括的支援事業を通じ、医療・介護・予防・生活支援の各分野と協同し地域包括ケアシステムを構築していきます**

**II. 地域ケア会議から出てきた地域課題の解決に向けた取り組みを行います**

『地域包括ケアシステム』とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。



〈地域包括ケアシステムのイメージ図〉



〈地域ケア会議の構造〉

## 1. 地域ケア会議をより一層充実していきます。

- ①地域包括ケアの考え方、地域ケア会議の機能や役割を理解してもらう取り組みを行います。
- ②過去2年で抽出された地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。
- ③地域ケア個別会議に当事者、家族の参加を心がけ、自立支援と家族支援に取り組みます。

## 2. 認知症の方にやさしいまちづくりを推進していきます。

- ①認知症サポーター養成講座を働き盛り世代や町内会を中心に開催していきます。認知症の方を見守る認知症サポーターを100名養成し、町民の25%を目指します。
- ②どんぐりカフェ（認知症カフェ）を定期的で開催し、認知症の方を介護するご家族の安心できる場を確保していきます。
- ③あんしんネットワークの個人協力者を100名から150名に増やし、所在不明者発生時の早期発見につなげていきます。

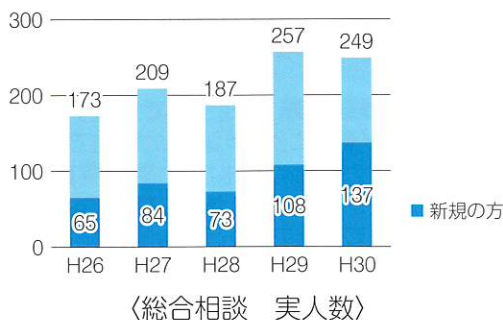
## 3. 支えあい本部、総合事業を通じた地域づくりに積極的に参画していきます。

- ①高齢者の生活支援ニーズの把握に努め、生活支援コーディネーターに協力し、サービス開発や仕組みづくりに努めます。
- ②介護予防センターに協力し、住民の主体的な介護予防の取り組みを促進します。

## 《昨年度の主な活動》

### 1. 高齢者の主な相談状況(相談件数の多い順)

- ①介護保険 ②認知症に関すること ③医療
- ④障害に関すること(知的・精神・障害等)
- ※65歳以上1056名の32.1%の方に対応



### 2. 高齢者把握訪問

- ・80歳以上の独居、夫婦世帯の73名を訪問
- ・70歳以上の広域連合のニーズ調査未提出の方79名を訪問
- ※訪問した方のうち約2割の方が介護サービスや介護予防の取り組みが必要な方でした。

### 3. 地域ケア会議のとりくみ

- ①地域ケア個別会議 11回(事例9名)開催  
検討した困り事(件数の多い順)：病気・障害・住まい・介護・認知症・金銭的問題・孤立
- ②自立支援型地域ケア個別会議 4回(事例8名)開催  
助言者として参加した専門職：医師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・社会福祉士・主任介護支援専門員・生活支援コーディネーター
- ③地域ケア推進会議 6回開催  
※町で取り組み中の地域課題～施設の対象とならない高齢者の住まいの整備・ゴミ出しが困難な高齢者の個別支援・高齢者等の見守りをする際の個人情報取り扱いに関する整備 など

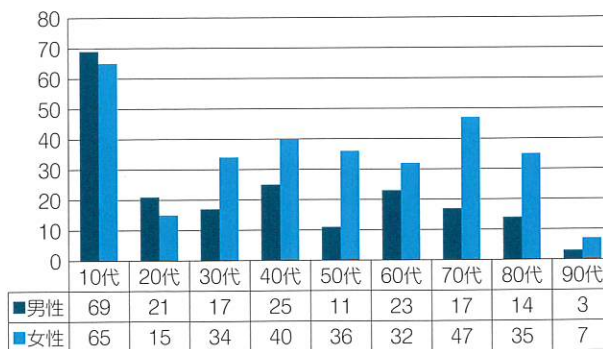
### 4. 認知症の方にやさしいまちづくり

- ①認知症サポーター養成講座7回開催117名養成  
※サポーター512名で町民の21%に
- ②あんしんネットワーク模擬訓練  
グループホームしらかばで開催
- ③どんぐりカフェ(認知症カフェ)月1回開催中
- ④ほかほかまつりで講演会を開催



### 5. 介護予防が必要な高齢者の把握

- ・65歳以上の方320名(30.3%)に基本チェックリストを実施
- ・介護予防が必要と判定された方が162名(約半数の方)
- ・取り組みが必要とされた項目(多い順)
- ①物忘れ予防 ②うつ予防 ③運動器
- ④口腔ケア ⑤閉じこもり予防 ⑥栄養改善



### 6. そのほか

- ・ケアマネージャー業務77名(総合事業利用者55名・要支援で介護サービス利用者22名)
- ・高齢者虐待対応4件計10回話し合いを開催(身体的1・心理的2・放任1・非虐待判断2)
- ・専門職向け研修会を3回開催：高齢者虐待研修・介護支援専門員対象2回

# 京極町介護予防センター

## ○平成30年度事業報告・令和元年度事業計画

① **一般介護予防事業**：住民主体で介護予防に取り組むつどいの場が新たに3か所誕生し、町内で活動しているグループは8か所になりました。参加実数は右の表に示した通り137名と大幅に増加しています。シャキッと会の参加実数は37名で、つどいの場の充実に伴い若干減少しました。

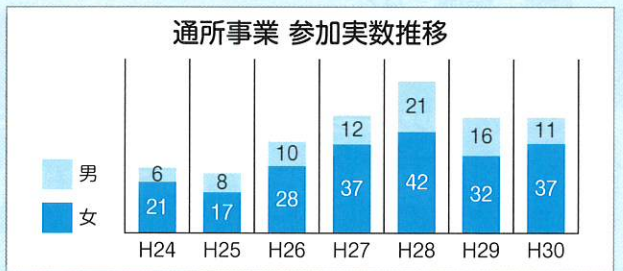
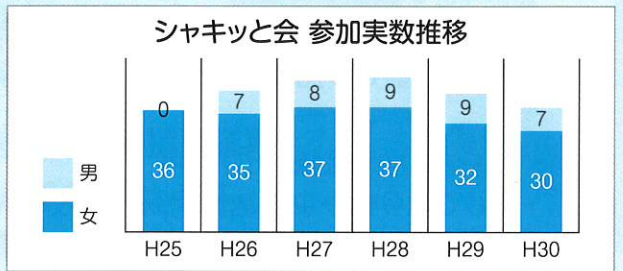
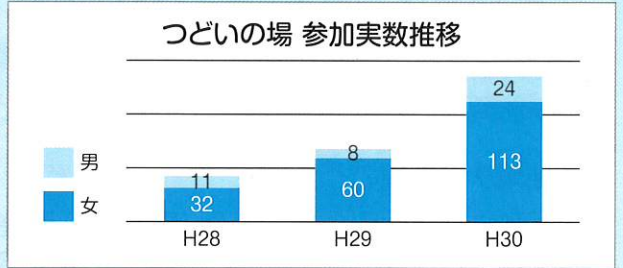
また、町民のみなさんへ介護予防に関する啓発を行うためにこっと通信を年4回発行し、全戸配布を行いました。これらの事業は令和元年度も継続して実施してまいります。1～2月には冬期間の運動不足解消に向けて、体育館2階のトレーニング室の機器の使い方を説明する教室を開催しましたが、参加者が少なかったため、令和元年度は随時、個別に対応することにしました。

② **介護予防通所型サービス事業**：要支援相当または通年で運動が必要な方のためミニデイサービスにこっと（通年）、運動機能維持・向上のため筋力アップ教室（3か月間×1回）、認知機能維持・向上のため脳力アップ教室（5か月間×1回）を開催しました。令和元年度も同様に実施していきます。

③ **介護予防訪問型サービス事業**：要支援や事業対象者の方に対し、家事援助に特化したにこっと訪問サービスを実施しました。実人数5名、延人数115名で年々減少しています（前年度実人数7名、延人数197名）。今後も地域福祉拠点での支えあいステーションの充実に伴い、利用者は減少すると予想しています。令和元年度は理学療法士が訪問するにこっと短期集中リハビリ訪問サービスを新たに開始します。にこっと短期集中リハビリ訪問サービスは、3か月間で日常生活動作の自立など具体的な目的を達成するためのサービスです（継続して行うリハビリ訓練ではありません）。



四区集会所で実施中のつどいの場  
グループ名：新輪会

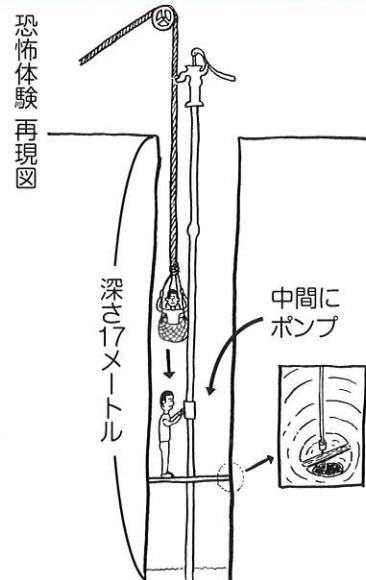


## 本当の豊かさを問う

文 笹原 満雄 番外編

昭和34年3月に、まゆみと結婚。まゆみは母親から「嫁に行くときは平らな畑の家に」と言われていたのに、来てみたら傾斜ばかりの畑だったと、笑い話にして人にきかせている。

また、我が家では飲料水に大変苦労した。井戸は深さ17メートルあり、中間でもう一つポンプをつけなければくみ上げることはできなかった。小学生の時、そのポンプの部品を交換するために、モッコに乗せられて深井戸に吊り下げられた恐怖は忘れられない。今なら考えられないことが、昔は生活のためにそれぞれが必死だった。





**ピート君**  
『また会う日までの巻』

みなさん、  
広報「ふれあい」は  
読んでもらってますか？

年4回  
町内のボランティア活動や  
地域の方の会など  
福祉について色々な  
情報を紹介しています

ホクも4コマで  
伝えてきましたが  
今は内容も充実して  
読みやすく工夫してるので  
ぜひ全部読んで下さい

今後とも  
広報「ふれあい」を  
よろしくおねがいします

**完**  
長い間ピート君を  
楽しんで下さり  
ありがとうございました

# デイサービスだより

## 平成30年度事業報告



### 〈平成30年度利用状況報告〉

項目	30年度延人数	29年度	前年比
要介護1~5	3,581人	3,515人	+66人
要支援1~2	584人	485人	+99人
合計	4,165人	4,000人	+165人
稼働日数	244日	244日	±0日
1日平均	17人	16人	+1人

## 新規利用者・終了者

### 〈新規利用者〉

項目	30年度	29年度	前年比
要介護者	12名	10名	+2名
要支援者	11名	1名	+10名
合計	23名	11名	+12名

### 〈利用終了・休止〉

	30年度	29年度	前年比
合計	17名	11名	+6名

平成30年度は前年度と比較し約4%の利用増となりました。(29年度は約-4%の利用減)  
 前年比が増加となるのは平成24年以来6年ぶりとなっています。  
 新規での利用については、前年度同様に認知症や難病といった疾病を抱える方が目立っています。また、要支援の方の利用も日常生活支援総合事業が始まった平成28年度以降最も多くなっています。  
 近年は「共生社会」という言葉がメディアなどでよく見かけるようになりました。誰もが安心して暮らせる地域づくりが今後は重要となってきます。  
 当事業所はこれからも町の皆さまにとって「わかりやすい」「通う意義のある」デイサービスを目指し、支援のお手伝いをさせていただきます。

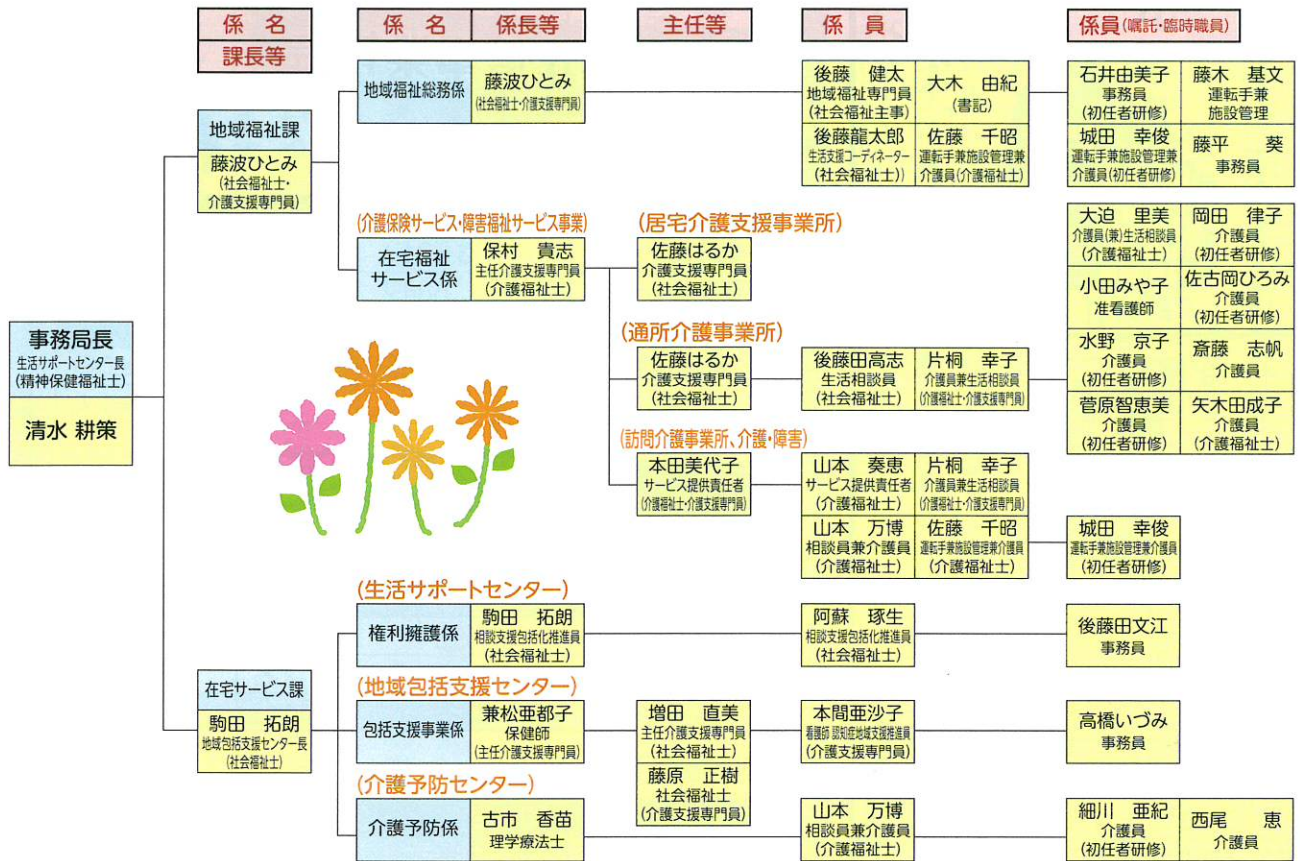
## 令和元年度 重点目標

以下の2点を重点目標に掲げ、皆さまの暮らしを支える事業展開を目指します。

1. 利用者の人格及び人権を尊重し、利用者及び家族のニーズに応じて利用者個々に合わせた個別プログラムを実施する
2. 在宅生活の維持を支援できるよう、個々の状態に合わせたサービスの提供や「利用者本位」の事業展開を行う

# 令和元年度京極町社会福祉協議会 職員体制

令和元年7月1日



## 寄付・寄贈に感謝いたします

【寄贈】佐藤 建一様

【期間】3月～5月

【寄付】「福祉基金へ」

高木 美香様より、母の故 荒関 慶子様のお礼として  
 堅田 武様より、京極町の福祉のために  
 妹尾 邦生様より、母の故 妹尾 正子様のお礼として  
 遠藤 政吉様より、京極町の福祉のために  
 澤 利博様より、父の故 澤 信雄様のお礼として  
 賀川 仁様より、弟の故 賀川 正様のお礼として  
 デイサービスレク材料費として  
 真田 英雄様より、母の故 真田 春江様のお礼として  
 赤間 真知子様より、京極町の福祉のために  
 中村 恒男様より、京極町の福祉のために  
 板谷 重子様より、京極町の福祉のために  
 古屋 清子様より、京極町の福祉のために

【共生型地域福祉拠点(きょう・ここ)へ】

ヘルパーSUNの会様 京極小学校6年生有志様 おばちゃん食堂よって様